

2017.5.1

第159号

# のへじ 議会だより



3月定例会での議員集合写真

## 3月 定例会

議案審議内容	2～3
一般質問	4～8
委員会報告、議会活動	9～12
議会報告会	13
議会の動き、地域活動写真募集、6月定例会予定	14

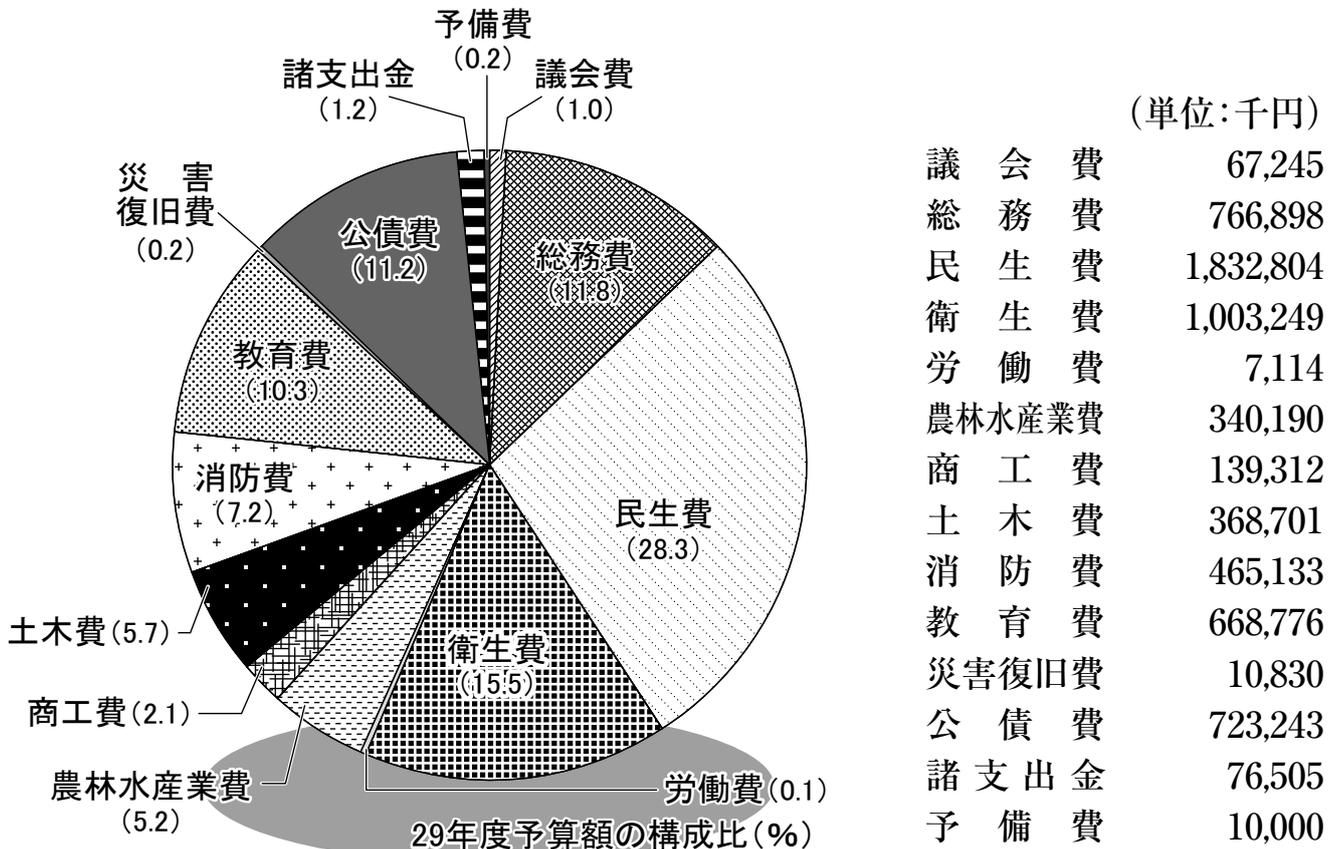
# 平成29年度当初予算決まる

平成29年第1回定例会は、3月1日から3月15日までの15日間の会期で行われました。  
町長からは、承認事項1件、平成28年度補正予算5件、平成29年度当初予算7件、条例改正13件、その他議案3件が提出され、議案2件については取り下げ、他の議案等については、それぞれ原案どおり承認、可決しました。

## 平成29年度予算の内訳

(議案第6～12号)

会計名	本年度予算額	前年度予算額	前年度対比
一般会計	64億8,000万円	60億7,000万円	6.8% 増
国民健康保険事業	20億8,912万円	22億5,594万円	7.4% 減
後期高齢者医療	1億5,219万円	1億4,777万円	3.0% 増
介護保険事業	16億3,525万円	15億2,145万円	7.5% 増
介護サービス事業	675万円	721万円	6.4% 減
下水道事業	2,600万円	2,524万円	3.0% 増
水道事業			
収益的支出	2億8,652万円	2億8,882万円	0.8% 減
資本的支出	1億4,642万円	1億4,205万円	3.1% 増



# 3月議会の議案審議結果

承認第1号	専決処分した事項の報告及び承認を求めるの件（青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村総合事務組合同規約の変更について）	全員承認
議案第1号	平成28年度一般会計補正予算（第6号）	全員賛成可決
議案第2号	平成28年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）	全員賛成可決
議案第3号	平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）	全員賛成可決
議案第4号	平成28年度下水道事業特別会計補正予算（第1号）	全員賛成可決
議案第5号	平成28年度水道事業特別会計補正予算（第3号）	全員賛成可決
議案第13号	議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	議案取り下げ
議案第14号	特別職の職員の給料等に関する条例の一部を改正する条例	議案取り下げ
議案第15号	旧教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例	全員賛成可決
議案第16号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	全員賛成可決
議案第17号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	全員賛成可決
議案第18号	職員の配偶者同行休業に関する条例	全員賛成可決
議案第19号	企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	全員賛成可決
議案第20号	個人情報保護条例等の一部を改正する条例	全員賛成可決
議案第21号	行政手続条例の一部を改正する条例	全員賛成可決
議案第22号	町税条例等の一部を改正する条例	全員賛成可決
議案第23号	介護保険条例の一部を改正する条例	全員賛成可決
議案第24号	包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	全員賛成可決
議案第25号	農業委員会等に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	全員賛成可決
議案第26号	消防団条例の一部を改正する条例	全員賛成可決
議案第27号	町道の路線変更の件	全員賛成可決
議案第28号	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の一部を改正する条例	全員賛成可決

## 平成28年度 補正予算

〈 一般会計 〉 **補正額** **総額**  
 (第6号)  $\triangle 1,600$ 万円  $\Rightarrow$  63億900万円

〈 特別会計 〉  
**国民健康保険事業** (第4号)  $\triangle 1$ 億3,030万円  $\Rightarrow$  21億7,720万円

**後期高齢者医療** (第4号) 245万円  $\Rightarrow$  1億5,182万円

**下水道事業** (第1号)  $\triangle 21$ 万円  $\Rightarrow$  2,502万円

**水道事業** (第3号)  $\bullet$ 収益的収入及び支出  
 $\ast$ 職員給与の変更により収益支出の項目間の額の移動で総額は変更ありません。  
 ただし、職員の給与費の補正は、議会の議決事項となっています。 2億8,882万円



なかや けんいち  
中谷 謙一議員

問

ビックデータを見える化した地域経済分析システムRESAS（リーサス）は、人口、地域経済循環、産業構造、企業活動、観光、まちづくり、雇用、医療・福祉、地方財政といった分野から構成されるものです。ビックデータから得られる気つき、効果の高い産業施策の立案やインバウンド戦略など様々な施策立案に役立つと思われるが、今後RESASを活用してはどうか。



問  
地域経済分析システムRESAS（リーサス）を活用しては？

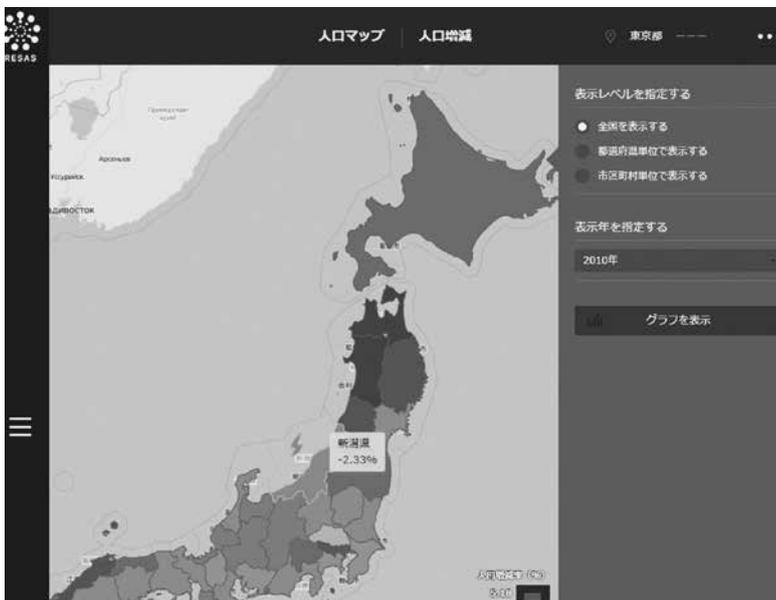
町長

RESASにつきましては、野辺地町まち・ひと・しごと創生総合戦略及び創生人口ビジョン策定時において活用しています。

例えば、基本目標の郷土のなりわいをつくるという産業労働分野においては、産業構造分野のデータから商業の町の再現と雇用創出の対策強化をしていくための施策を盛り込んでいます。また、基本目標の生活環境や生活基盤の分野に関わる部分においては、人口分野のデータから近隣市町村への転出者の抑制を図ることが可能か分析を行い、転入者に対する助成などの施策の

展開を計画しています。29年度は野辺地町まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定から2年が経過する年度です。今後、各分野の施策の進捗状況の確認や事

業の効果検証を行い、総合戦略の見直しを検討していく予定ですので、その際RESASを有効に活用したいと考えています。





のむら ひでお  
野村 秀雄議員

**問① 祇園まつりをユネスコ無形文化遺産  
に登録しては？**  
**問② 水産物加工施設整備事業の  
現在までの経緯は？**

**問①**

存続が危ぶまれてい  
るのへじ祇園まつり  
を、ユネスコ無形文化  
遺産へ登録してはどうか。

**町長**

のへじ祇園まつりに  
つきましては、歴史や  
文化など様々な視点か  
ら捉え、今後付加価値  
をつけていかなければ  
と考えています。  
由緒や変遷を示す資  
料が十分に発見されて  
いない状態ですが、一  
つ一つ調査を進め、登  
録に向け段階を踏んで  
いきたいと考えていま  
す。

**問②**

総額2億4千万円の  
大業である水産物加  
工施設整備事業の現在  
に至るまでの経緯につ  
いて詳細に説明を。

**町長**

水産物加工施設整備  
事業は、鮮魚等の生も  
のに付加価値を付け、  
販路の開拓により漁業  
者の所得向上を目的と  
して計画したもので  
す。  
25年4月に漁協から  
要望があり、東北防衛  
局へ組合と町で要望を  
行いました。28年5月  
には設計事業が採択さ  
れ、同年9月に入札を  
実施し契約、同年12月  
には事業の実施計画書  
を提出し、採択の内示

**問③ 総合体育館基本計画策定の経緯は？**  
**問④ 空き家対策の進捗状況は？**

**町長**

を受けましたので、29  
年度において事業を実  
施する計画で進めてい  
ました。

その後、29年2月に  
漁業者への事業説明会  
を実施しましたが、漁  
業者の方々から事業を  
不安視する声があり、  
3月2日の組合臨時総  
会で賛否について採決  
した結果、否決となり  
ました。

以上のことから大変  
残念ではございます  
が、建設工事へ着手す  
ることが出来ない現状  
です。

**問③**

総合体育館基本計画  
の策定に至るまでの経  
緯について説明を。



町立体育館

平成37年の第80回国  
民体育大会の本県開催  
に伴い、県ハンドボー  
ル協会よりハンドボー  
ル競技の開催をお願い  
したい旨の陳情書が町  
に提出されました。今  
後内定通知を受けた場  
合、築40年を経過した  
町立体育館に代わる新  
体育館の建設に向けた  
調査や検討を行うた  
め、総合体育館基本計  
画を策定することとな  
ります。

**問④**

空き家対策の進捗状  
況と条例化について説  
明を。

**町長**

28年度に空き家家屋  
などの情報をデータ  
ベースに入力していま  
すが、今後さらに調査  
が必要な状況です。ま  
た、空き家対策の推進  
に関する特別措置法が  
施行されたことで、指  
導や勧告、代執行が可  
能となったことから現  
在、相続人等へ手紙や  
電話で改善をお願いし  
ています。今後、担当  
事務の整備を進め、代  
執行に関わる費用の規  
定などを含めた条例の  
制定を進めたいと考え  
ています。



とある 徹議員  
こさか 小坂

**問①各種施設の建設計画と財源は？**  
**問②野辺地病院にかかる町負担割合は？**  
**問③～⑤原子力立地給付金について**  
**問⑥～⑧財政運営計画について**

**問①**

役場庁舎、町立体育館、統合小学校、みちのく丸に係る展示及び交流拠点施設など、各種施設の新設や建て替えの計画と財源について説明を。

**町長**

役場庁舎については29年度において創設される市町村役場機能緊急保全事業を活用することを前提とし、庁舎建設の基本的な方針をできるだけ早い時期にお示ししたいと考えています。町立体育館については29年度に総合体育館基本計画策定業務を実施し、基本構想や概算事業費等について調査検討を進め、社会資本整備総合交付金により建設を行いたいと考えています。みちのく丸の展示及び交流拠点施設については、事業計画の全体像の精査や検討、財源の調査を現在進めています。

**問②**

野辺地病院の本館建て替えと赤字経営に対する町負担分について、議会に示されることなく新聞報道がなされた理由と、計画されている負担割合や金額についてお示しを。

**町長**

建て替えにかかる総額や財源の根拠が乏しい状況で、今のところ議会にお示しする材料がないと判断したことによるものですが、新聞報道がされたことに関しては、掲載する記事は各新聞社の裁量です。コメントを控えさせていただきます。負担割合については北部上北広域事務組合負担金条例で定められており、28年度は当町の負担割合は74.63%となっております。また、病院事業に対する額は繰り出し基準とし一般会計が負担できる額を繰り出し基準として総務省から通知されており、建設改良費は2分の1とされています。

**問③**

原子力立地給付金の町民受け取り分の減額の確保はされているのか。

**町長**

原子力立地給付金は、町民ご協力のもと25年度から29年度までの5年間という期限で各家庭や企業が受け取る給付金を半分に減額させていただき、小学校の耐震化事業や役場庁舎建設に使わせていただくこととしています。安全で安心な教育環境を整える学校の耐震化と、防災センターの役割を兼ね備えた新役場庁舎建設は、町民はもとより、当町で事業活動を続ける企業においても大変有益なことと思われ、等しく受益性はあるものと考えています。また、経済的弱者対策を残しながらも全ての家庭や企業を対象としていきますので、公平性は確保されているものと受け止めています。

**問④**

原子力立地給付金の算定基準に対する考え方は。

**町長**

国の規則で定められた交付単価を基に、契約する口数やキロワット数などにより算定されています。

**問⑤**

議員や特別職の報酬の見直し提案されるのであれば、町民に原子力立地給付金を全額給付すべきでは。

**町長**

基本的な考えとして、報酬や給料はその職務や職責に応じた額とすべきであると考えていますので、今後その時々々の社会情勢や財政状況等を見極めながら判断していきます。給付金の取扱いにつきましては、しっかりとその目的のために活用させていただきますのでご理解をお願いいたします。

**問⑥**

財政運営計画において人件費の増額は見込まれているのか。

**町長**

平均給与の伸び率等を算定しており、29年8月の財政運営計画の改訂で反映されます。

**問⑦**

健全で計画的な財政運営を図るため、施設等建設計画の政策調整を行う予定は。

**町長**

事業の選択や経常経費の圧縮を図った上でもなお、施設等の建設計画によって財政の健全性が失われることになる場合は、計画の実施時期の調整や規模の縮小、優先度の低い事業の縮小または廃止も視野に入れていきます。

**問⑧**

なぜ財政状況が厳しいこの数年に建設計画が集中するのか。

**町長**

公共施設が大量に更新時期を迎えるため集中するのはやむを得ない面がありますが、今後も施設の長寿命化や規模の適正化、実施時期の調整などを図りながら健全な財政運営に努めていきます。



えと まさき  
江渡 正樹議員

# 問①家庭から絵本を検索できる システムを構築しては？ 問②図書館で気にせず絵本を見られる 場所をつくっては？

## 問①

絵本ソムリ工岡田達信氏は、癒されたいとき、失敗したとき、人間関係に悩んだとき、自分らしく輝きたいときには絵本を読んではと言っています。絵本には計り知れないパワーがあると思うが、家庭から絵本を検索できるシステムを構築してはどうか。

## 教育長

町図書館ホームページの蔵書検索から、読みたい図書の所蔵検索が可能です。検索の仕方については、広報等において周知を図っていきます。

## 問②

周りを気にせず、親子が図書館で絵本を見られる場所をつくってはどうか。



図書館設置PCでの蔵書検索画面

## 教育長

町図書館には赤ちゃん絵本コーナーや児童コーナーを設置していますが、今後公民館の和室等を利用し、子ども連れの方が気軽に図書館を利用できるように環境づくりの研究や検討を図っていきたいと考えています。



子ども向けのコーナー

## 問③

図書館の本は不特定多数の手に触れ、ほこりもついていると思う。風や紫外線で殺菌、消毒などを行う書籍消毒器を導入してはどうか。

## 教育長

28年12月に紫外線で図書の表面を除菌する除菌ボックスを導入しています。今後高度な書籍消毒器の導入の必要があれば検討したいと思います。



図書館に設置している除菌BOX

# 問③図書館に書籍消毒器を導入しては？



おかやま よしひろ  
岡山 義廣議員

## 問① 役場庁舎新築の具体的な工程は？

### 問①

29年度の当初予算に庁舎新築事業の予算が計上されていません。近年中に事業に着手したいと発言したと記憶しているが、具体的な工程は。

### 町長

28年12月に市町村役場機能緊急保全事業債が創設されることが総務省から示されました。かつてない有利な財政措置で、庁舎建設が現実味を帯びてきたものと感じています。制度の詳細は今後示されることとなりますが、この市町村役場機能緊急保全事業債を活



築60年以上が経過する本庁舎

用することを前提として、庁舎建設の基本的な方針を29年度の出来るだけ早い時期にお示ししたいと考えています。

### 問②

みちのく丸推進事業は観光や産業発展に大きな可能性があると考えます。内部では地方創生に相当程度事業効果があったと評価しているが、評価対象の部分について説明を。

### 町長

みちのく丸を活用していくための財源とさせていただく一般寄附や、ふるさと納税みちのく丸応援コースへの寄附件数を目標値化し、今後の利活用に関わる事業に対する評価を加えたものを評価対象としています。

## 問②～③

## みちのく丸利活用推進事業について

26年度は寄附件数が3件で、27年度は倍の6件を目標としていましたが、実績ではそれを大きく上回る23件のご寄附を賜りました。また、本交付金により購入した半纏や、のぼり旗等のPR用品、雪囲い設置や解体事業は今後みちのく丸を活用した事業推進をさらに発展させる効果を生むことから、地方創生に相当程度の事業効果があったと評価しています。

### 町長

現在進めているみちのく丸陸揚げに要する概算経費の調査結果や、みちのく丸伝承利活用調査業務における交流施設整備の調査結果を踏まえ検討していきますが、町が抱える他の重要プロジェクトや町の財政状況などを総合的に勘案し、事業の全体像をまとめた上でご説明差し上げ、ご提言をいただく機会を設けたいと考えていますので、今しばらくご猶子をいただきたく、ご理解とご協力をお願いいたします。

### 問③

現状のままでみちのく丸を保存展示できるのであれば、観光客や来訪客に非常に効果が大いと思われるが陸揚げはいつの予定か。

# 委員会報告

総務  
常任委員会

2月16日

## 介護・福祉課

### ①保育所利用料軽減事業について

「国の取組みでは、年収約360万円未満の世帯の保育料を第2子は半額、第3子は無料、ひとり親世帯の場合は第1子を半額、第2子を無料としています。町の取組みでは、同時に保育所（幼稚園）に入所している場合は2人目以降を無料、18歳未満の子どもが3人以上いる場合は3人目以降を無料としています。」

### ②給付金事業の進捗状況について

「高齢者向け給付金が1954名、障害・遺族基礎年金受給者向け給付金が107名、臨時福祉給付金が3054名から申請を受けています。」

### ③福祉関係施設について

「町立体育館前に就労継続支援B型事業所が開設しました。29年度は障害者向けのグループホームと、認知症対応型のグループホームが開設予定です。」

### ④介護ロボット等導入支援事業について

「2老健施設と老人ホームの計3施設へ導入されています。」

### ⑤訪問介護と通所介護について

「29年4月から介護認定支援1・2の方々から介護保険サービスを受けられなくなり、当町では4月以降も同様のサービスを利用できるよう各事業所と取り決めを交わすこととしています。」

### ⑥介護保険制度について

「低所得者に対する軽減措置期間が29年度まで延長されることに伴い、介護保険料が年額3万3000円から2万9700円に減額されます。」

## 学校教育課

### ①教育ICTシステム導入事業について

「各学校にタブレットPCや無線アクセスポイントなどを導入する事業で、進捗率は29年1月末現在で80%です。」

### ②小・中学校講堂天井等耐震化事業について

「講堂の吊り天井などの落下防止対策として28年度に実施設計を行っており、29年度に工事を予定しています。」

### 委員から質問

「町の活性化につながるよう地元業者への発注は行うのか？」

学校教育課長  
「大手企業と共同で行うJV方式などが可能か財政課と協議します。」

### ③29年度の主な予定事業について

「町内に在籍する高校生に対し、大手予備校等の短期講習会に係る経費を助成する人材育成事業や、特別な支援

を必要とする児童や生徒への対応としてスクールサポーターの増員、給食センターの外部補修や調理機器の更新などを予定しています。」

### ④その他

委員から質問  
「野辺地小学校だけマラソン大会やスキー大会を行っていないのはなぜか？」

教育長  
「マラソン記録会やスキー教室は実施しており、実現に向けて様々検討しておりますので、今後も働きかけを行ってまいります。」

### 社会教育・スポーツ課（中央公民館）

### ①男女共同参画事業について

「28年度は講師を迎えた研修会を2回実施し、町民21名と職員55名にご参加いただきました。」

### ②青森県小学生スキー大会について

「29年2月に開催し、

全体では36校、151名にご参加いただきました。」

### ③競技スポーツ支援事業について

「町内に在籍する学生に対し、合宿や遠征等に係る経費の一部を助成する事業で、29年2月時点で9団体に交付しています。」

### ④29年度の主な予定事業について

「勤労青少年ホームの外壁の一部修繕、体育センターの改修、競技場の内壁の張り替えなどを予定しています。」

### ⑤28年度成人式について

「対象者118名中85名にご出席いただきました。」

## 地域戦略課

### ①企業誘致対策事業について

「雪冷熱を利用したコテナ型データセンターの事業展開を行いますとの問い合わせがありましたので、今後情報収集や協議を進めて

いきます。」

### ②地域間交流事業について

「埼玉県久喜市との交流を引き続き推進していきます。」

### ③原子力立地給付金減額支援助成金交付事業について

「29年1月末現在で、587件の申請があり3月末まで専用窓口で受け付けを継続します。」

### ④小形風力発電施設について

「町民の安全安心と、環境保全や景観形成の観点などから建設に際し遵守いただきたい事項などを示すガイドラインを制定し、広報に掲載しました。」

## 防災安全課

### ①消防団員装備品等の整備について

「救命胴衣21着と安全靴を76足、デジタル無線機26台を整備しています。」

### ②消火栓設置工事について

「28年度内にタラノ木

# 委員会報告

地区と馬門地区に1基ずつ設置予定です。」  
③29年度の主な予定事業について

「地域防災計画の原子力編の修正や、消防団第5分団小型動力ポンプ付積載車を更新する予定です。また、災害時用の非常食として、白米や牛丼の具、乳幼児用粉ミルクやアレルギー用粉ミルクを整備する予定です。」

**委員から質問**  
『海に近い旧馬門保育所に非常食を保管して大丈夫か?』

**防災安全課長**  
「関係課と協議し検討します。」

## 町民課

①記念証発行について  
「29年1月から、人生の節目の記念となる婚姻記念証と出生記念証を発行しています。」  
②国民健康保険税の軽減判定所得について  
「物価上昇の影響により軽減対象から外れてしまうことのないよう

軽減判定所得の引き上げが決定しています。」  
③国民健康保険高額療養費自己負担限度額について

「70歳以上の現役並み所得者や、一般所得者の自己負担限度額の引き上げが決定しています。」

④後期高齢者医療の保険料軽減特例について  
「所得割の軽減が29年度は5割から2割に、30年度には軽減なしになります。均等割の減免については将来的に見直しの予定です。」

## 財政課

①29年度予算について  
「歳入では町税や国庫支出金、繰入金、町債などが増となり、歳出ではベイフロント事業に係る商工費や、町営住宅改修事業や急傾斜地対策事業に係る土木費、小・中4校の耐震化に係る教育費などが増と見込まれています。」

## 建設産業保健衛生 常任委員会

2月17日

## 健康づくり課

①各種検診(健診)の受診状況について  
「がん検診や特定健診の受診は昨年度と比べ若干低い状況で推移しています。」  
**委員から質問**  
『がん検診は何歳から出来るのか?』

**健康づくり課長**  
「当町では30歳から受診できるようにしています。」

②野辺地病院小児科の外来診療について

「29年度からは週2回、月曜と木曜の午前中が外来診療になります。」

③妊婦健康診査等交通費助成事業について  
「妊婦健康診査1回あたり2千円を助成しています。緊急受診でタクシーを利用した場合は全額を助成します。」

④がん検診について  
「乳がんと子宮がん検診は29年度から町外の検診機関でも受診できる体制となります。」

⑤メタボリック症候群予防・改善事業について

「参加しやすい体制づくりのため、各種運動教室などの実施時間の見直しやプログラムの改良を図り実施します。」

## 建設環境課

①馬門川の改修計画について

「洪水痕跡調査業務が完了し、浸水区域解消のための具体的な改修計画を策定中ですので、今後事業化に向けて検討に入ります。」

②29年度の主な予定事業について  
「継続事業として石神裏・上川原線補修工事他1件、新規事業として獅子沢跨線橋橋梁補修工事他3件、急傾斜地対策事業として馬門地区他2件などを予定

しています。」  
**委員から質問**  
『道路改良の進捗状況は?』

**建設環境課長**

「重要路線や緊急性の高い路線から優先的に実施していますが、計画どおりには進んでいない状況です。」

**委員から質問**  
『下水道事業はどうなっているのか?』

**建設環境課長**  
「再評価委員会を開催し、29年3月までに結論を出す予定です。」

## 地域戦略課

①朝市や各イベントの状況について

「のへじ常夜燈朝市は29年1月までに16回開催し、入込数は2227人です。28年11月に実施した街コンでは、男性37名、女性20名にご参加いただきました。29年2月に実施した真冬のドリンクラリーでは、541枚の参加チケットが売れたとの報告を受けていま

す。」

②町観光振興計画策定事業について  
「町の観光振興の方針や目標を定めた計画の素案を策定しました。」

③29年度の主な予定事業について  
「空き店舗等を活用して出店する方へ補助金を交付する空き店舗活用事業や、地域活性化や雇用拡大を目的とする産業創出応援事業は引き続き実施します。」

商工会への補助は、地域総合振興補助として170万円、花火大会には町制120周年ということで前年度から100万円増額の250万円を助成する予定です。」

**委員から質問**  
「祇園まつりの参加者不足への対応は?」

**地域戦略課長**  
「実行委員会や観光協会、自治会連合会も含めてどのような有効な手段があるのか協議していきます。」

# 委員会報告

## 委員から質問

「漁業振興や産直施設の整備は将来どのような形にしていくのか？」

## 地域戦略課長

「みちのく丸を核とした計画の中において、漁業や商業、観光に携わる関係者等と連携して進めていきます。」



## 水道課

### ①29年度の主な予定事業について

「中央監視装置改修工事や、量水器852個の定期交換工事、新田浄水場ポンプ場の屋根や外壁の改修工事などを予定しています。」

## 農林水産課

### ①馬門地区農道整備事業について

「事業主体は県で、総工事費2100万円、うち町負担金は273万円、施工数量は244mで28年10月20日に完成しています。」

### ②産直施設新築工事について

「事業主体は町で、契約金額は1701万円、施設規模は約30坪で、28年10月20日に完成しています。」

### ③水産物供給基盤機能保全事業について

「事業主体は県で、事業費は1億3000万円、うち町負担金は1300万円、東・北防波堤や臨港道路の改修を行っています。」

### ④水産物加工施設建設整備事業(実施設計及び地質調査)について

「事業主体は町漁協で、契約金額は1350万円、うち実施設計費は1050万6240円、地質調査費は299万3760円で

す。町からの補助金は125万3000円を予定しています。」

### ⑤生産振興総合対策事業について

「野菜集出荷貯蔵施設の建設事業です。事業主体は農協で、契約金額は建屋建築工事が2億7000万円、個々包装機械の設置工事約1857万円、真空予冷機械や冷蔵設備の改修工事が1億1124万円です。町からの補助金は800万円を予定しています。」

### ⑥29年度の主な予定事業について

「木明集会所の外壁改修、川目地区用水路復旧事業、寺ノ沢地区町有林間伐業務、水産生産基盤整備事業、柴崎地区災害復旧事業などを予定しています。」

### ⑦農業委員会等の法律改正について

「農業委員の選出方法が変更となるほか、新たに農地利用最適化推進委員の設置が必要となります。」

## 原子力エネルギー対策特別委員会

2月21日

## 東北電力(株)

事故の対策として

「①施設を守る②燃料損傷を防止する③放射性物質を閉じ込める」といった深層防護対策などについて説明を受けました。

### 委員から質問

「深層防護対策を講じていれば福島での事故は防げたと思うか？」

### 東北電力(株)回答

「福島での事故は津波が主な要因。今回の対策では、まず電源を確保し原子力を冷やすことが最優先となりますので、一部の事故は防げたのではと考えています。」

### 委員から質問

「具体的な津波対策は？」

### 東北電力(株)回答

「防波堤の高さを13m

## みちのく丸等の利活用推進特別委員会

2月3日

### ①みちのく丸腐食診断の結果について

### 委員から質問

「調査を行った目的は？」

### 地域戦略課長補佐

「現状を把握して、どのような活用が行えるのか検討することが目的です。」

### 委員から質問

「みちのく丸を展示することを前提にして協議をするのであれば進め方が違うのでは？」

### 町長

「陸揚げして保存することが決定しているわけがなく、これまでの調査結果や状況を委員に報告し、ご意見をいただきたいという趣旨で進めています。」



東北電力(株)東通原子力発電所

# 委員会報告

②みちのく丸復元・利活用検討調査会について

委員から質問

『調査会メンバーの選考過程は?』

地域戦略課長補佐

「当町に船を運ぶ方法等について総合的に考えた結果、建設業関係の方々と、オプザバーとして船の構造に精通している北浜造船鉄工さんや船大工さんにご協力いただくことにしました。」

委員から要望

『町に持ってきた後のメンテナンスなどを考慮し、当町の造船関係者にも携わってもらおうよう検討してほしい。』

町長

「加わっていただけけるよう検討します。」

委員から質問

『展帆航行は行えないとしても浮かせて運ぶことは可能なのか?』

町長

「水押部分を直しての曳航は可能です。」

委員から質問

『ベイフロント計画深化・推進事業は何年計画で進めるのか?』

地域戦略課長補佐

「地方創生推進交付金は3年事業の扱いとなつていますが、3年間で施設を建てるといった意味合いではありません。全体的な計画を立てた中で進めていかなければならないものと考えています。」

③活き活き常夜燈市場について

委員から質問

『かき入れ時の年末年始に市場が閉まっていったというのは本当か?』

地域戦略課長

「事実ですが、今後協議会にお願いをし、人員の配置等を考慮したうえで可能であれば、年中無休で運営していただくよう要請したいと考えています。」

④その他

委員から質問

『北前船の寄港地として栄えた全国7道県の11市町が、文化庁に北前文化の日本遺産認定を申請したとの記事が新聞に掲載されていた。文化庁に申請するためについた物語の表題では「北前船寄港地・船主集落」となっていたが、当町にも船主集落は存在したのか?存在しなかったのか?あれば当町は登録申請を行えないのか?』

町長

「北前船の寄港地であったということは厳然たる事実ですので、船主集落が無ければ申請出来ないということではないものと考えています。」

委員長から行政側に対し、これまでみちのく丸にかかった経費と、29年度に予定している経費を議会に提出いただくよう要望がなされました。

## 議会活動

4町村議会議員研修会

2月6日(月)

双子雄牛の生産技術を確立したことで黒毛和牛の品質向上が期待されている、県産業技術センター畜産研究所の石山治所長を講師に迎え、4町村(横浜町・東通村・六ヶ所村・野辺地町)議会議員研修会が行われました。石山氏からは、本県独自の和牛改良や、特別飼育された青森シャモロックの開発、昨年行われた六魂祭での販売促進活動などについて説明を受けました。

商工会との懇談会

2月24日(金)

商工会側から、商工に対する町補助金のかさ上げや、町制120周年を記念する花火大会への補助、町外への仕事増加に関する働きかけ、駅前駐輪場の整備など広く要望がなされました。

また、商工観光以外にも、風力発電や下水道事業、みちのく丸に関する事業、町の人口対策や空き家対策などについても意見交換が行われました。

福祉施設等の見学

3月29日(水)

新設された勤労継続支援B型事業所と、認知症対応型介護施設を見学し、提供されるサービス内容などについて説明を受けました。



# 議会報告会開催内容について

## ■テーマ

1. 役場庁舎建設について
2. 学校建設について
3. 町立体育館建設について
4. 公立野辺地病院建設について
5. その他について (①～②)

## □町議会議員 10名

蛭名 猛、熊谷 晴雄、江渡 正樹  
 中谷 謙一、古林 輝信、野坂 充栄  
 岡山 義廣、小坂 徹、戸澤 栄  
 野村 秀雄

## □参加者数 町民17名

29年3月28日(火)に中央公民館で開催された議会報告会の概要について掲載いたします。

### テーマ1 役場庁舎建設について

**町民からの質問**  
 町民からの原子力立地給付金を減額して積み立てた、庁舎建設の基金の額は？

**回答**  
 2億9千万円です。

**町民からの質問**  
 原子力立地給付金の減額期間終了後はどうなるのか？

**回答**

町民の皆様方からのご意見を頂戴しながら決めたいと行政側から伺っています。

**町民からの質問**

庁舎建設にかかる費用はどのくらいか？

**回答**

今年の早い時期に行政側から示されると伺っています。

### テーマ2 学校建設について

**町民からのご意見**  
 子供たちが安心して快適に学校生活を送れる施設を建ててほしい。

### テーマ3 町立体育館建設について

**町民からの質問**

37年に本県において開催予定の国民体育大会1度のために、現在の体育館の床面積の倍の建物を建て、膨大な維持費を永遠に払い続けていくのか？

**回答**

健康づくりの面や、避難施設という防災面の観点からも必要だとの答弁を受けています。

**町民からのご意見**

・人口が減っているので活用する人はほとんどいないと思う。  
 ・役場庁舎建設が先。地震で倒壊するおそれがある。

・建てた後が大変、優先順位でやるべきことが沢山あるはず。

### テーマ4 公立野辺地病院建設について

**町民からの質問**

なぜ解体する部分を直しているのか？

**回答**

より良い環境下で診療を行うことによって、利用者や医療収益の増加が見込めるとの回答です。

**町民からの質問**

経営悪化は病院内部の人事に問題があるのでは？

**回答**

町民に疑念や不安を与えないよう病院側に申し入れをしています。

### テーマ5 その他 ①みちのく丸について

**町民からの質問**

3月議会で提案されたみちのく丸の予算は？

**回答**

水押復元業務204万4000円、PR用PV製作業務367万2000円、一般公開安全対策業務216万円、講師派遣業務10万8000円、一般公開周知チラシ作成業務30万円です。

**町民からの質問**

船の腐食診断にかかった経費は？

**回答**

17万円です。

**町民からのご意見**

・みちのく財団があれば、お金をいくら掛けても人は来ない。

・北前船寄港地フォーラム後に船をどうするのか早く決めてほしい。

### テーマ5 その他 ②活き活き常夜燈市場について

**町民からのご意見**

将来、今の産直施設より大きい施設を建てても、シケや悪天候などで商品が並ばない時はよそから仕入れてでも販売するという気持ちで運営側にならないのは絶対黒字にはならない。商売をやった方に運営を任せなければダメだと思う。



議会報告会の様子

## ◆ 議会の動き ◆

2月3日	みちのく丸等の利活用推進特別委員会
6日	四ヶ町村議会議員交流会
16日	総務常任委員会
17日	建設産業保健衛生常任委員会
21日	原子力エネルギー対策特別委員会
23日	議会運営委員会
23日	文化賞スポーツ賞授与式
24日	県町村議会議長会定期総会
24日	県原子力施設環境放射線等監視評価会議監視委員会
24日	商工会との意見交換会
3月1日	29年第1回定例会 開会
10日	29年第1回定例会 一般質問
11日	野辺地中学校卒業式
13日	29年第1回定例会 当初予算審議
13日	29年第1回定例会 議案等審議
15日	閉会
22日	各小学校卒業式
28日	28年度第2回議会報告会
29日	福祉施設等見学会
4月6日	野辺地中学校入学式
7日	各小学校入学式
7日	広報委員会
20日	広報委員会



# 地域活動写真募集！！

議会広報委員会では、町内で活動しています団体の活動を『地域活動の紹介』と題して、議会だよりに掲載いたします。

応募の際は、お名前・ご連絡先をご記入のうえ、活動内容の分かる写真数点を議事事務局へ提供くださるようお願いいたします。

たくさんのご応募お待ちしております。

**問い合わせ先**

野辺地町議会事務局 電話 64-2111 内線 253・254



## 6月定例会の予定

- 13日(火)開会  
町長が議案の提案理由説明をします。  
各委員会の委員長が活動の報告をします。
- 14日(水)一般質問  
議員があらかじめ提示したテーマで質問し、それに町長等が答えます。
- 15日(木)議案等審議  
定例会初日に説明された議案に対し、質疑・討論・採択が行われます。
- 開会時間 9時30分
- 日程変更等があるかもしれませんので、詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

## 議会を傍聴 しませんか？

第1回(3月)定例会  
傍聴者数 41名

## 編集後記

議会改革の一つとして、皆様に読んでいただける「議会だより」の発行に試行錯誤しながら努めてまいりました。

町民の皆様と、二元代表制の一翼を担う議会との意思疎通を図るツールとして「議会だより」の役割は非常に大きいものと思います。

これからも「読みやすい」「分かりやすい」「次号が楽しみだ」と皆様方より喜んでいただけるよう創意工夫をしてみたいと思いますので、引き続きご指導ご鞭撻くださいますようお願いいたします。

### 議会広報委員会

委員長 江渡 正樹  
副委員長 中谷 謙一  
委員 野村 秀雄  
委員 野坂 充  
委員 野村 秀雄